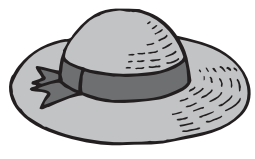


# まちがどスナツプ



夏休みにあわせて、各  
公民館で夏休み子ども体  
験教室「サマーチャレン  
ジ」が開催されました。



7月20日(金)くもい  
仁手公民館  
スポーツチャンバラ教室



7月29日(土)くもい  
旧玉公民館  
親子ブローメン作り教室



8月3日(木)はれ  
本庄の中央公民館  
子ども團気教室



8月7日(月)はれ  
旭公民館  
親子茶道教室



8月8日(火)くもい  
南公民館  
伝統芸能体験教室



8月10日(木)はれ  
東公民館  
子ども  
ビーズアークサリイ教室



8月17日(木)あめ  
西公民館  
子ども紙粘土細工教室



8 / 9 上手にヘルスアップ  
「知って得する！ウォーキングの極意」



8 / 4 サマーコンサート



8 / 4 夏休みみどりの図書館

# 市長コラム しんげの 一言メッセージ

## 9月12日は塙保己一先生の命日

「私の心の支えであった偉大な日本人、塙保己一先生の故郷を訪れることができ、こんなにうれしいことはありません。」

昭和12年、当時の浦和市公会堂（現埼玉会館）を訪れたヘレン・ケラー女史は、保己一先生の銅像をなでながら涙を流してこう語ったそうです。

今から約250年前、武州児玉郡保木野村に、幼いころ病により失明し、母親を早くに亡くした大変聡明な寅之助という少年がいました。後に彼は江戸に出て自活するための修業を始めるのですが、生来の学問への志は止みがたく、大変な苦勞のすえ周囲の理解ある人々のおかげで国学の道に進みました。そして、ついに道を究め「総検校」という当時の盲人の最高の位につき、一方、我が国のあらゆる書物を収集して精査し、それをジャンル別に編さんする一大事業を行いました。これが世に名高い『群書類従』です。我が国の歴史文化についてのデータベース化は、後世に計り知れない恩恵をもたらしております。盲目というハンディを背負った保己一先生が成しとげたこの偉業は、どんなに称賛してもしきれないものがあると私は感じております。

旧児玉町では保己一先生の命日に当たる毎年9月12日に、遺徳をしのぶ「顕彰祭」を行って参りました。新本庄市もこの行事をしっかりと受け継ぎ、盛大に挙行する予定です。市民の皆さまも、どうぞ当日午後2時にお気軽にセルディにお越し下さり、先生の遺影にお花を手向けていただきたくご案内申し上げます。

本庄市長 **吉田信解**

## 野鳥の詩

### アオアシシギ （全長32cm）

- 鳴き声 「チョーチョーチョー」と三音節
- 撮影地 新坂東大橋下流約1km地点



旅鳥（日本より北で繁殖し南で越冬する習性）ですので、利根川では通過する春秋二回観察出来ます。

この写真は、北へ向うゴールデンウィークの終わりごろ撮影しました。秋風が吹くころ、再び利根川へ立ち寄り、栄養を付け休憩してから東南アジアやオーストラリアへ向います。

利根川の河川敷がいわば「サービスエリア」となります。哀愁を帯びた鳴き声がススキの間から聞こえると利根川の秋も深まります。

文・写真 町田好一郎



7月31日若泉公園で茅の輪くぐりが行われました。この輪をくぐると無病息災になるといわれています。

茅の輪くぐり